

# 令和4年度 第17回 子育て支援事業計画

1. テーマ 子育て・親育ちの会『親子でふれ合おう！ 楽しもう！』
2. 主催 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学  
認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園
3. コーディネーター 東筑紫短期大学 保育学科 准教授 吉田 千津子  
東筑紫短期大学 保育学科 准教授 笹部 聡子  
認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園  
主幹教諭 高木 泉鑑  
副主任（保育園部） 川田 麻里

## 4. 目的

2022年に入ってもなお、新型コロナウイルス感染症の広がりが全世界で続いています。しかし現在は、3密の回避などの新しい生活様式を取り入れた「ウィズコロナ」の時代となり、一人ひとりが感染予防対策をとり、周囲への思いやりを持って生活していくことが求められています。

昨今の日本では少子高齢化の中さらに出生率が低下し、時には虐待によって消えていく子どもの命もあります。この世に生まれてきた大切な子どもたちの健やかな成長には、国や県・市町村をはじめ、様々な分野から支援を充実させ、家庭や地域がひとつになった子育てを行うことが必要です。

子育ての基本は家庭です。子どもは遊びや生活の中で成長していき、親もまた子どもとの関わりを通して子どもから学び、より成長した“親となって”いきます。しかし子どもとの関わり方に悩むこともあるでしょうし、親子関係がうまくいかないときもあるでしょう。本事業の意義は子どもとよりよく関わるができる機会や、子どもと一緒に楽しむ場を提供すること、またそれらの中で、子どものいつもと違う姿や関わり方を発見し、親子のきずなを深めることにあります。

認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園・九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学の主催による子育て支援事業「子育て・親育ちの会」は、食・子育て・老人介護・リハビリの各専門分野の特性を生かし、おかげをもちまして今年で19年目を迎えさせていただきました。

またこの支援事業活動にかかわってきた小倉南区キャンパスの学園の農園も、ますます充実してきております。

認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園においても、教育の理念「よいこのころは ちくしのころ」に沿った園生活やあそびの中で、園児に「ゆうき・しんわ・あい・ちせい」の4つの心の芽を育てており、これは幼児教育の基本である「幼稚園教育要領」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の求める子どもの育ちとも合致しています。

また本学園では、未就園児・附属幼稚園の園児や保護者のみならず地域社会に対して、周防学舎によるシニアカレッジや北九州市民カレッジ等を開催し、地域の活性化を目標に取り組んでおります。

本事業を通して、「子どもの成長」と「育てる喜びを感じられる子育て」を支援します。

## 5. 事業計画

### A) 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学・認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園の講師陣による オムニバス授業

●対象：親子（未就園児を含む）

●講義計画

日時	講師	学習テーマ	会場
10月下旬 10：40～11：40	九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 教授 佐野 幹剛	「親子でハーバリウムを つくって遊ぼう！」 季節の草花を使って	大学・短大 2号館3階 303教室
11月	九州栄養福祉大学 食物栄養学部 准教授 室井 由起子	「親子クッキング」 秋の食材満載お子様ランチ	大学・短大 2号館6階 606教室
12月	東筑紫短期大学 保育学科 教授 寺本 普見子 准教授 吉田 千津子	「親子でつくって遊ぼう！」 いろいろな素材を使って	大学・短大 2号館3階 303教室

### B) オンライン特別講座～離乳食について～

9月下旬	東筑紫短期大学 食物栄養学科 准教授 梅林 千恵子	「離乳食のすすめ方(食育)」	オンライン配信
対象	保護者		

◎新型コロナウイルス感染症等の状況によっては変更することがありますのでご了承ください。

#### お願い

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の方は参加される会の約10日前より検温を行い、体調管理等をお願いします。
- ・37.5℃以上の熱が続いた時やいつもと違う症状がある場合は医師の指示を受け、従ってください。
- ・各会の当日は受付にて検温をさせていただき、37.5℃以上の熱があった場合は参加できませんのでご了承ください。
- ・手指消毒やマスク着用のご協力を合わせてお願いします。